

- 運営組織
- 職員会議
- 経営評価
- 教職員
- 学級経営
- 教科の指導
- 道徳の指導
- 特別活動の指導
- 校内研修活動

第一次評価の対象領域として、教育目標、年度の重点学年学級経営、教科の指導、道徳の指導、運営組織をえらんだ。

(2) 評価表の作成

① 評価単位の設定

それぞれの領域における活動の過程は、計画、準備、展開、評価が着実に行われるものとして、この過程を各領域の評価単位とした。

② 評価の観点

〔評価単位の機能を効果的にはたすためには、いくつかのステップが考えられる。それを順序よく着実に実践することによって活動が高まり充実するものと考えられる〕

③ 評定

ABCの3段階とした。各自の考えを〔そう思う〕をAとし、〔そう思わない〕をCとし、〔どちらともいえない〕〔わからない〕をBとしてチェックしてもらった。

評価単位ごとに自由記述欄を設けた。

領域	評価単位	観点	評定 A B C	反省意見
教育目標	目標の設定	1. 教育月…	1 1 1	

(3) 評価の結果の集計・考察

① 集計……評価の観点に対する反応の分布を実数で表わす。職員15名、実際に評価に参加した人数は10名。

② 考察の観点……評価の観点に対する肯定値と否定値とを比較、自由記述に書かれた事を参考にし、改善点を見出す。

領域	評価単位	評価の観点	評定 2 4 6 8 10
教	目標の設定	1. 目標設定の意義についての共通	A B C
		2. 地域や生徒の実態からみて適切	
		3. 職員の討議は十分か	
育	理解と徹底	4. 目標は全領域の指導計画の中に	
		5. 目標は日常の指導の中に	
		6. 家庭が目標を理解し協力するよ	

目	検討と改善	7. 実践を通して反省討議が加え	
		8. 目標改善のための組織的計画	
標	反省・意見	○ 教育目標設定の手順・内容についての理解がない。	
		○ 学級目標との関連があまりない。	
		○ 目標の到達度を測ることができるようにしたい。	
		○ 目標徹底の具体案を考慮すべきである。	

〔考察〕 目標の設定・理解の徹底の程度についての否定面は少なく、積極的に肯定している人も少ない。

〔設定の手順・内容についての共通理解がない〕との反省意見が出されているが、教育目標について十分検討することができなかった。

一般教育目標については、毎年目標の成果を検討し必要に応じて改正及び実践の方法を考慮することが大切であると思う。

領域	評価単位	評価の観点	評定 2 4 6 8 10
年	設定の手順	1. 学校の教育目標に関連して設	A B C
		2. 学校の現状や前年度の反省の	
		3. 数年間を見通した年次計画の	
		4. 全職員の協力のもとに設定さ	
の	理解と実施	5. 努力目標は全職員に理解され	
		6. 努力目標は生徒の中にも理解	
		7. 〃 学年学級の中にも	
		8. 〃 日常の指導の中に具	
		9. 〃 に即した研修がなされ	
点	検討と改善	10. 検討のための会合は随時に行	
		11. 改善のための資料が集められ	
の	反省・意見	○ 共通理解をはかる手だてがほしい。	
		○ 学級経営の目標が明確でないクラスもある。	

〔考察〕 年度の重点(努力目標)は、教育目標達成の具体目標として位置づけられる実践目標である。本校では年度始めに教頭が昨年の反省にもとづき教務主任と原案を作成し、校長の指導を得て職員会に提案して協議決定する。

評定を見ると、生徒への理解、日常の教育活動での具現化等の実践面では、自分達の目標だという意識が忘れられてはいないだろうか。目標に魅力がないためか、いずれにしても設定の手続きや目標の内容について検討が必要である。